

作成日:2010年4月2日

改訂日:2016年4月19日

安全データシート

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名	ベンリメンテペースト専用混和液
会社名	二瀬窯業株式会社
住所	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署	技術部技術課
電話番号	0948-22-0447

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性 生殖毒性 区分 2

上記以外の物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関しては、分類できない、分類対象外または区分外である。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

予防策: 絶対に飲まないこと。
 使用前に本 SDS を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。
 屋外または換気のよい場所で使用すること。
 換気が十分でない場合には、呼吸器用保護具を着用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 環境への放出を避けること。
 容器に余った製品や容器を洗った洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

対応: 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断/手当てを受けること。
 暴露した場合または暴露の懸念がある場合、及び気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

保管: 漏洩した場合、布等で拭き取ること。
 容器を密閉し、換気の良いところで保管すること。

廃棄: 凍結(3℃以下)や高温(40℃以上)は避け、屋内で保管すること。
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別
 化学名または一般名
 成分及び含有量

混合物
 アクリル系共重合体

成分	含有量 %	CAS No	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
アクリル系共重合体	40.0	未登録	既存(非公開)
ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	3.6	9016-45-9	(7)-172 10-296
水	54.7	7732-18-5	既存
その他添加剤	1.8 未満	非公開	既存(非公開)

【4. 応急措置】

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

目に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませること。直ちに医師の処置を受けること。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用すること

【5. 火災時の措置】

消化剤

水、泡消化剤、粉末消化剤

特有の危険有害性

水溶液状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスには、二酸化炭素、一酸化炭素等のガスが含まれるので、消化作業の際には煙を吸入しないように注意すること。

特定の消火方法

周辺火災の場合、移動不可能な場合は、容器、梱包及び周囲に散水して冷却する。

消化を行なう者の保護

着火した場合、火元(熱源)を断ち適切な消化剤を用いて風上から消化する。
 適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等)を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項・保護具および緊急時措置

漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面等を着用する。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。河川、湖沼流出した場合は直ちに監督官庁に連絡を取ること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材除去方法

多量に流出した場合は、毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げたり、硫酸バンド等の凝集剤を散布して凝固させ、少量の場合でも水で流さずウエス等で拭き取り、回収物等は、13.項の廃棄上の注意を参考にしながら処理すること。

二次災害防止策

滑りやすくスリップ事故の原因となるため、濡れた状態で放置しないこと。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い

技術的対策

取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼、手洗い設備を設置すること。

局所排気・全体換気

屋外または換気のよい場所で使用すること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

安全取扱い注意事項

保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面を着用すること。

接触回避

できるだけ蒸気(揮発成分)を吸入しないこと。

衛生対策

【10.安定性及び反応性】を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、換気の良い、施設できる場所に保管すること。
凍結(3°C以下)、高温(40°C以上)は避け、屋内保管すること。
皮張り防止のため、使用後は密閉して貯蔵すること。

安全な容器包装材料

混触禁止物質は【10.安定性及び反応性】を参照。
内面コートされ金属容器及びプラスチック容器。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度

設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会
ACGIH

設定されていない
設定されていない

設備対策

室内で取り扱う場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに安全シャワー、洗顔、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

防毒マスク

手の保護具

ゴム又は樹脂製の保護手袋

眼の保護具

ケミカルゴーグル、保護眼鏡、保護面

皮膚及び身体の保護具

厚手の長袖、長ズボン

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态

形状

液体

色

乳白色

臭い

僅かなアクリル臭

pH

6.0~8.5

凝固点

約 0°C

沸点

約 100°C

引火点

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(相対密度)

データなし

溶解性

水に無限大に希釈可能

n-オクタノール/水分配係数

データなし

自然発火温度

自然発火せず

分解温度

データなし

粘度

0~2000 mPa·s

【10. 安定性及び反応性】

安定性

通常の取扱い条件においては安定で危険性はない。

危険有害反応可能性

特になし。

避けるべき条件

凍結(3°C以下)や高温(40°C以上)は避けること。

混触危険物質

特になし

危険有害な分解生成物

特になし

【11. 有害性情報】

急性毒性	類似品及び各成分のデータより混合物は分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
呼吸器感作性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
皮膚感作性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖細胞変異原性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
発がん性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖毒性	成分データより、混合物は区分 2。(生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。)
特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
吸引性呼吸器有害性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。

成分有害性情報

アクリル系共重合体

急性毒性(経口)	類似品データ LD50(ラット)>2,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	類似品データ LD50(ラット)>2,000 mg/kg

ポリオキシエチレン/ニルフェニルエーテル

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	うさぎを用いた皮膚刺激性試験で中程度から強度の刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	うさぎを用いた眼刺激性試験で中程度から強度の刺激性がある。
生殖毒性	親動物の妊娠率や胚数の減少がみられる。
特定標的臓器毒性-反復ばく露	

添加剤

急性毒性(経口)	LD50(ラット)=284 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギの試験で、腐食性がみられた。ヒトに対して腐食性の記載がある。
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	ヒトに対して不可逆的な障害があり、ウナギの試験で腐食性の記載がある。
特定標的臓器毒性-単回ばく露	臓器(呼吸器系)の障害を示す。
吸引性呼吸器有害性	吸引により肺炎で死に至る記載がある。

【12. 環境影響情報】

生体毒性	混合物として試験したデータはないので、各成分の有害性情報と混合物としての GHS 分類結果を以下に記載する。
------	--

製品有害性情報

水生環境有害性(急性)	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
水生環境有害性(長期間)	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。

成分有害性情報

添加剤

水性環境有害性(急性)	甲殻類(ミシッドシュリンブ)48 時間 LC50=0.99 mg/L
水性環境有害性(長期間)	急速分解性がなく、急性毒性が区分 1(長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性)とした。

残留性/分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし 尚、モントリオール議定書にリストアップされた物質を含まない。

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

【14. 輸送上の注意】

国際規則

国連番号	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 付属書 II および IBC コードによりばら積みされる液体物質	船でばら積み輸送する場合は、未査定物質を含むため、査定のための申請が必要。

国内規制

海上規制情報	海洋汚染防止法、船舶安全法に従った容器、積載方法で輸送する。
航空規制情報	航空法に従った容器、積載方法で輸送する。
陸上規制情報	道路法、消防法に従った容器、積載方法で輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのなことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 車両等で輸送する場合は、運転手は運送注意書(イエローカード)を保持して下さい。
緊急時応急措置指針番号	該当しない

【15. 適用法令】

化審法 : 法第 2 条第 5 項 優先評価化学物質 通し番号 86 α-(ノニルフェニル)-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法): 法 2 条第 2 項 施行令第 1 条 別表 1(第 1 種指定化学物質)
 政令番号 410 号 ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル

消防法 : 非危険物

海洋汚染防止法 : ばら積み運送 未査定物質
 個品運送 海洋汚染物質に該当しない。

【16. その他の情報】

参考

- ・ 日本産業衛生学会誌
- ・ ACGIH
- ・ GHS 分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

本データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、安全データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。